

大阪市立上福島小学校 令和元年度
校長経営戦略支援予算【基本配付・加算配付】実施報告書
(補足説明資料)

総論

① 年度目標の達成状況、総評

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

校舎増改築工事に伴う調整課題は多かったが、家庭や地域と連携しながら行事や日々の取り組みの内容を工夫して行い、地域に開かれた学校づくりを進めることが出来た。日々の教育活動の中で児童会や委員会が中心となって週目標を意識できるような活動を工夫し成果が出ている。来年度からは、新校舎を使用することをふまえた目標を立てていく。例年通りたてわり班での活動も多く取り入れ、異学年間でも協力して活動したり、助け合ったりする姿が多く見られた。また、学校安心ルールに基づいて保護者との連絡を密にし、教職員がチームとなっていじめ解消に向けて取り組んできた。今後、相手の立場や気持ちを考えて行動することができるよう目標を設定し、児童の安全・安心を充実させるための取り組みを進めていきたい。

【心豊かに力強く生き抜く未来を切り拓くための学力・体力の向上】

今年度も授業研究や習熟度別少人数指導などで指導方法を工夫し、基礎的・基本的な学力を高める努力をしてきた。複数の指導者がチームで学級に入ることによって個々の児童の実態を把握し、それぞれの課題に応じた指導をすることができている。その成果として、学力向上が評価テスト結果などに大きく反映されている。継続した生活振り返り週間の取り組みで児童の意識が高まり、「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さが定着してきた。これまでは、工事中のため、体力の向上ができる環境整備が難しかった。来年度から、体育館や運動場が使用できるようになるので、運動時間の確保と体育的活動の内容を工夫し、これまでの停滞を挽回できるように努力していく。

② 学校協議会における意見

- ・ いじめの件数の認知の仕方について
- ・ 本校での体力を維持する取り組みについて
- ・ 経年調査テストについて
- ・ 校舎増改築工事に伴う対応について